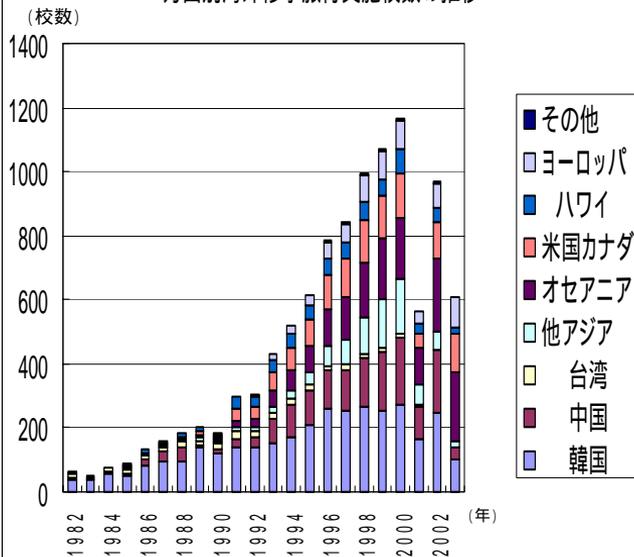


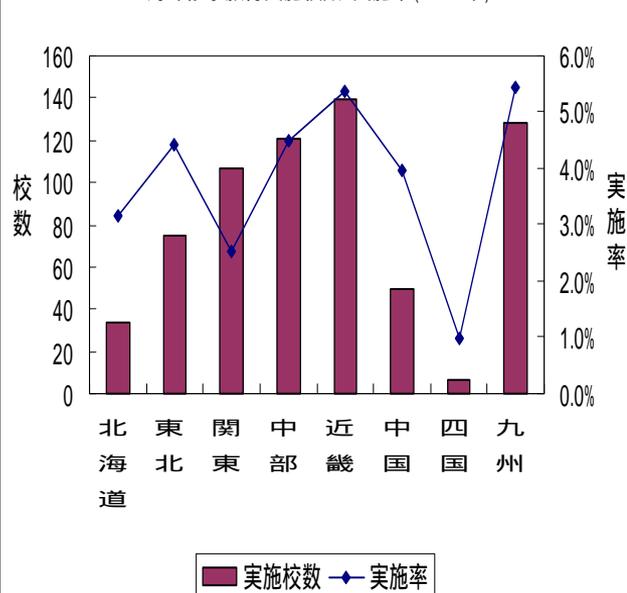
指標：方面別海外修学旅行実施校数・地域別海外修学旅行実施校数・実施率

海外への修学旅行件数は2000年まで急激に増加してきたが、2001年以降は海外の情勢不安等の影響により、件数に落ち込みがみられる。その行き先の多くはアジアであるが、オセアニア、北米、ヨーロッパへの件数の伸びが大きい。地域別の実施率では西日本において高い傾向にあり、アジアへの地理的な近接性が背景にあると考えられる。

方面別海外修学旅行実施校数の推移



海外修学旅行実施校数・実施率(2003年)



(出典)日本修学旅行協会資料より国土交通省国土計画局作成

(注)統計上の制約により、2003年の台湾はその他アジアに、2001年、2002年の米国、カナダにはメキシコも含まれる。

また、地域区分は次の通り。

北海道(北海道)、東北(青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島)、関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川)

中部(新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知)、近畿(三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)

中国(鳥取、島根、岡山、広島、山口)、四国(徳島、香川、愛媛、高知)、九州(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)